

第54期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日

p.01 トップメッセージ

高見澤 和夫

p.02 主要製品の概況

p.04 トピックス

TOPICS
1

ウォークスルー型顔認証改札機を
ご採用いただきました

TOPICS
2

緊急脱出口を装備した
腰高式ホームドアをご採用いただきました

TOPICS
3

長野県SDGs推進企業に
登録されました

p.05

決算データ

p.06

会社の概要

- 株式の状況
- 役員状況



世の中に
必要不可欠な
会社を目指して

代表取締役社長

高見澤和夫

平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第54期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）営業の概況及び決算の諸事項につき、次のとおりご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、ウィズコロナの下で緩やかに持ち直しの傾向が見られたものの、急激な為替の変動や部材供給面での制約、原材料価格の上昇などにより、依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境のもと、当社グループは、交通システム機器、メカトロ機器、特機システム機器の専門メーカーとして、鋭意営業活動の展開に注力してまいりました。

その結果、メカトロ機器部門において海外向けユニット製品の売上が減少しましたが、交通システム機器部門において自動券売機等の出札機器が堅調に推移したこと、また、特機システム機器

部門において防災計測システムの売上が増加したことなどにより、売上高は107億1千3百万円（前連結会計年度比8.1%増）となりました。

また、損益面につきましては、原価率の低い交通システム機器の改造案件が増加したことに加え、原価の低減及び経費の削減に努めたことにより、営業利益6億5千万円（前連結会計年度比164.0%増）、経常利益6億3千4百万円（同194.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4億5千1百万円（同310.3%増）となりました。

また、当社は2022年度より各部門の人員で構成する「サステナビリティ推進委員会」を新設いたしました。SDGsが目指す「持続可能な社会」を実現させるべく、各種社内目標を定め、取り組みを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月



交通システム機器

売上高

41億8千万円

前期比 16.6% 

交通システム機器部門では、乗車券自動券売機・ICカードチャージ機等の「出改札関連機器」、扉が横方向にスライドして開閉するタイプの可動式ホームドアや、3本のバーが上下方向に動いて開閉するタイプの昇降バー式ホーム柵等の「ホームドアシステム」を開発・製造・販売しております。

当期におきましては、自動券売機等の出改札関連機器が堅調に推移したこと、また、機器の改造案件が増加したことなどにより、売上高は41億8千万円となり、前期と比べ16.6%の増加となりました。



クレジットカード対応自動券売機
(しなの鉄道様小諸駅)



ホームドア
(京王電鉄様笹塚駅)



メカトロ機器

売上高

22億8千8百万円

前期比 18.9% 

メカトロ機器部門では、当社独自のコア技術であるT (Ticket:チケット)、B (Bill: 紙幣)、C (Coin: 硬貨)、C (Card: カード) 処理技術を応用したユニット製品を開発・製造し、金融機関向けATMや駐車場の精算機等を製造する装置メーカーに販売しております。

当期におきましては、主に海外向けユニットが低調に推移したことにより、売上高は22億8千8百万円となり、前期と比べ18.9%の減少となりました。



国内向け硬貨処理ユニット



特機システム機器

売上高

23億4千4百万円

前期比**31.0%**

特機システム機器部門では、セキュリティシステム・防災計測システム・パーキングシステムの開発・製造・販売をしております。

セキュリティシステムでは、オフィスや工場などのセキュリティ管理を目的に設置されるセキュリティゲートを主力製品としています。また、レジャー施設などで、入場券発売機などの機器とセキュリティゲートを組み合わせて来場者管理を行なう「入退場管理システム」も扱っております。

防災計測システムでは、特定の場所に備え付けて震度を計測する「設置型地震計」、レスキュー隊

が地震被災地に持ち込み、余震による二次被害を防止する「可搬型早期警報地震計」、列車やエレベーターなどの運行システムと連携し、大きな揺れが到達する前に機器の動きを停止させ、被害の軽減に役立つ「早期地震警報システム」を扱っております。

パーキングシステムでは、駐輪場管理システムに関する製品として、電磁式ラックや自動精算機等を扱っております。また、グループ会社である(株)高見沢サービスにおきましては、駐輪場管理業務を行っております。

当期におきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が収まりつつあるものの、駐輪場管理システムに対する投資の抑制が続き売上が減少しましたが、防災計測システムの売上が増加したことにより、売上高は23億4千4百万円となり、前期と比べ31.0%の増加となりました。



計測震度計
(左：処理部、右：計測部)



駐輪場管理システム
(あげおサイクルポート様)



01 ウォークスルー型顔認証改札機をご採用いただきました

当社は、大阪市高速電気軌道(株) (Osaka Metro) 様が2019年より実施している「顔認証を用いた次世代改札機」の実証実験に参加してまいりましたが、当社の改札機とパナソニックコネクト(株)の顔認証技術を組み合わせた「ウォークスルー型顔認証改札機」をご採用いただくこととなりました。2024年度末までにOsaka Metro全駅に導入される予定です。



(ホームドア設置時に撮影)

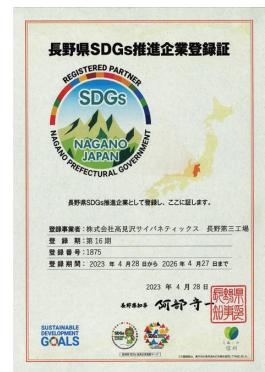
02 緊急脱出口を装備した腰高式ホームドアをご採用いただきました

当社は、緊急時に電車がホームの定位置から外れて停車した場合に、乗客がホームへ安全・迅速に脱出するための通路として「緊急脱出口」を装備したホームドアを開発しました。ホームドアの戸袋筐体部を手動でスライドさせて緊急脱出口を確保します。このホームドアは京王電鉄(株)様の笹塚駅にご採用いただきました。

03 長野県SDGs推進企業に登録されました

当社のものづくりの拠点がある長野県では、企業活動等を通じてSDGs (持続可能な開発目標) の達成に意欲的に取り組む県内企業等を登録・PRする制度を創設しています。

この度、2023年4月28日付で、当社長野第三工場が新たに登録されました。当社はSDGsの目指す『持続可能な社会』を実現させるべく、取り組みを進めてまいります。



連結財務ハイライト

売上高

10,713 百万円

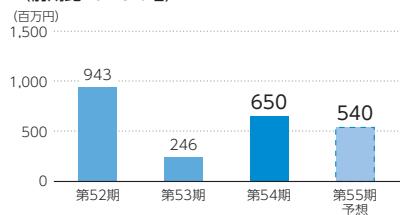
(前期比8.1%増)



営業利益

650 百万円

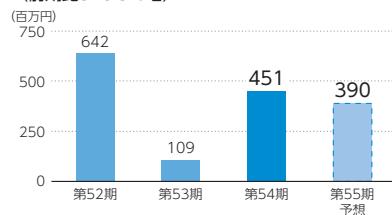
(前期比164.0%増)



親会社株主に帰属する
当期純利益

451 百万円

(前期比310.3%増)



第55期予想の ポイント

今後展開していく新製品の開発や、社員の待遇改善・優秀な人材の確保を目指し、対前年実績と比べて予算を多く見積もっていることから、第54期と比べ減益となる予想をしております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 第53期	当期 第54期
流動資産	9,562	10,236
固定資産	4,486	4,448
資産合計	14,048	14,684
流動負債	7,124	7,751
固定負債	3,105	2,654
負債合計	10,230	10,406
株主資本	3,581	3,979
その他の包括利益累計額	237	298
純資産合計	3,818	4,277
負債純資産合計	14,048	14,684

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第53期	当期 第54期
売上高	9,913	10,713
売上総利益	2,724	3,137
営業利益	246	650
経常利益	215	634
親会社株主に帰属する当期純利益	109	451

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 第53期	当期 第54期
営業活動によるキャッシュ・フロー	754	327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576	△651
現金及び現金同等物の増減額	90	△533
現金及び現金同等物の期首残高	3,052	3,143
現金及び現金同等物の期末残高	3,143	2,609

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.tacy.co.jp/>

会社の概要

会社の概要 (2023年3月31日現在)

商号	株式会社高見沢サイバネティックス
英文商号	TAKAMISAWA CYBERNETICS COMPANY,LTD.
設立	1969年10月1日
資本金	700,700,000円
従業員	401名(単体)、559名(連結)

■主な事業内容

区分	主要製品
電子制御機器	交通システム機器 自動券売機、定期券自動発売機、自動精算機、ICカード入金機、ICカード発売機(駅務用)、券印刷発行機、ホストシステム、ホームドアシステム 他
	メカトロ機器 硬貨処理関連機器、紙幣処理関連機器、カード処理関連機器、発券処理関連機器、OEM製品開発 他
	特機システム機器 パーキングシステム、セキュリティシステム、入退場管理システム、防災計測システム、コインゲート、カード発売機、オープン温度試験槽、各種計測器 他

役員の状況 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長	高見澤 和 夫	
常務取締役	竹田 一 雄	
常務取締役	花岡 伸 一	
取締役	高橋 利 明	
取締役	下里 雄 二	
取締役	藤 曲 宏 弥	
取締役	上原 良 房	
取締役	朝日 秀 彦	社外取締役
取締役	野口 真一郎	社外取締役 独立役員
常勤監査役	篠崎 倫 夫	
常勤監査役	田中 寛	
監査役	田中 勝	社外監査役
監査役	笹木 慈 夫	社外監査役 独立役員
監査役	泉 直 子	社外監査役 独立役員

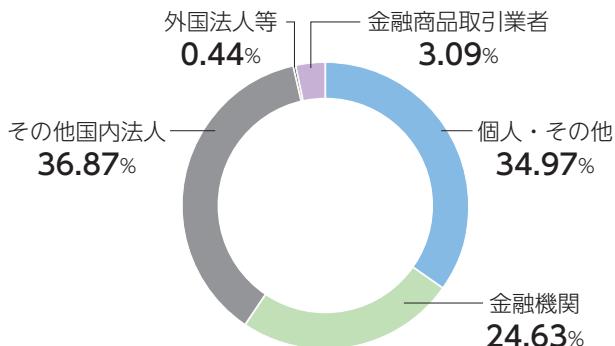
株式の状況 (2023年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,800,000株
- 発行済株式の総数 4,525,000株
(自己株式126,396株を含む)
- 株主数 2,050名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
富士電機株式会社	618千株	14.06%
みずほ信託銀行株式会社退職給付 信託富士電機口	519	11.81
再信託受託者株式会社日本カストディ銀行		
富士通株式会社	416	9.47
富士通フロンテック株式会社	250	5.68
高見沢サイバネティックス従業員持株会	218	4.98
株式会社みずほ銀行	175	3.98
高見澤和夫	169	3.84
株式会社三菱UFJ銀行	100	2.27
株式会社常陽銀行	100	2.27
レシップホールディングス株式会社	100	2.27
株式会社巴コーポレーション	100	2.27

- (注)1. 「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託富士電機口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」名義の株式519千株は富士電機株式会社が保有する当社株式を退職給付信託として信託設定したものであり、議決権については、富士電機株式会社が指図権を留保しております。
2. 当社は、自己株式を126,396株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況



株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	毎年6月下旬
■基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日
■株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
■公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載 しております。 https://www.tacy.co.jp

お知らせ

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

なお、お手続きの方法やよくあるご質問は、「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

よくあるご質問 (FAQ)

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

高見沢サイバネティックス

検索

高見沢グループの製品・サービス、最新ニュース、決算情報の詳細など、株主・投資家の皆様に役立つ情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。

トップページ <https://www.tacy.co.jp>



YouTubeチャンネル



株式会社 **高見沢サイバネティックス**

〒164-0011 東京都中野区中央2-48-5

TEL : 03-3227-3361 (代表)

UD
FONT



本冊子は環境保全のため植物性インキで印刷しています。